

2010年度 第5回 常任幹事会議事録

●日時
2011年3月26日(土)
15:00～17:00

●場所
阿佐ヶ谷美術専門学校 422号教室

●出席者
秋元圭一〔会長〕
日野高〔副会長〕
甲斐光省〔副会長〕
土橋洋一〔常任〕
西田一成〔常任〕
渡部征明〔常任〕
桜井裕美〔常任〕
大村政幸〔常任〕
松岡和彦〔常任〕
白石龍子〔常任〕
小山弘〔常任〕
永吉昭浩〔常任〕

●委任欠席(カッコ内→代理人)
三好耕之(秋元)
藤川正美
浜村圭一(西田)
勝山昌幸
大野美菜子
富澤和治(小山)
益子直子

常任出席者 12名
委任欠席者 7名
(常任幹事19/25名 定足数成立)

●議事進行
議長・進行:松岡和彦

●議事録
書記:久末静香

校正・制作・文責:
秋元圭一・大村政幸

■議題

- 1 卒展・同窓会賞・卒業式後のパーティ等の報告
- 2 2010年度決算報告(概略)と2011年度活動予定の報告
- 3 その他・意見交換

- ◎学校事務の島氏より、卒業中止についての報告と挨拶をいただいた。
- ◎会長から東北地方太平洋沖地震に関する哀悼の言葉が述べられた。
- ◎前回議事録が確認され、asabi-netへ掲載の運びとなった。「会議前に締切を設けて皆に確認を取る必要はないのではないか」という意見が出ると、事務局大村氏は「会議冒頭での議事録確認の項目を設けた後に、会則第21条-2の議事録署名人の項目を確認した為、追々解決しなければと後回しにしており、申し訳ございません」と謝罪した。

議題1 卒展・同窓会賞・卒業式後のパーティ等の報告

同窓生・在校生支援委員会の渡部氏は、本年度活動報告と次年度活動計画と予算案、同窓会賞結果、本年度幹事リストのプリントを配布し、報告した。

- ・卒展での投票の総数は101票あり、同窓会賞が決まった。
- ・来年度の卒展もバンクアートで開催を予定しており予約済み。次年度は人数が多いため、研究科のみバンクアート以外で展示する可能性がある。
- ・来場者は学生を含めて5千人ほどで、アサビは点数が多く他校に比べて賑わっており、日曜日は特に人が多かった。
- ・卒業制作シーズンということもあり、バンクアート自体の広報物のおかげで情報がより広まった。
- ・キャプションの文字を大きくしたが、もっと大きくてもいいという意見もあった。
- ・作品に番号をつけて投票しやすくなった方がいいという意見も出た。
- ・卒展を観に行った方から感想を伺うと、「全体的に印象が変わった、レベルが高かった」「会場のよかった」「床に直置き作品は名前が合っているかわかりづらい」「カテゴリがわかりにくかった」などの意見が出て、渡部氏は「今後も見やすくできるように工夫してゆく」と述べた。
- ・震災の影響による交通網の混乱のため、3月14日の卒業式が中止となり、19日に各科で卒業証書と同窓会賞の授与式が行われ、2010年度の幹事も紹介された。卒業パーティも中止となり、食事の注文はキャンセルし、飲み物は学校の新年度の懇親会で使用して頂けるとのことで、学校に買い取ってもらうこととし、清算後に収支報告する。卒業生と修了生に対し、応援の言葉を垂幕にして、学校中庭に掲示した。

議題2 2010年度決算報告(概略)と2011年度活動予定の報告

- 事務局
 - ・2010年度活動報告：各会議の書類作成、出欠確認、会議開催。各報告書等の作成(議事録、会議メモ等)。展覧会へのお花の贈呈。
 - ・2011年度活動計画：会議準備と開催、議事録作成、総会&パーティ2012の準備など。
- 広報
 - ・2010年度は同窓会ニュースを発行した。2011年度も同窓会ニュース発行を予定。
 - ・2011年度は委員長が富澤氏から勝山氏に交代したいとの報告。
- 名簿管理/会計
 - ・名簿新フォーマットの移行については進んでいない。ファイルメーカーが使える人を探している状況。(「ある程度の予算を出してフォーマットを作っている会社に相談してはどうか」との意見があった)
 - ・現状の会員数は総数5121名、発送可能者数は3121名、住所不明は2000名。今後、新フォーマットを完成させて総会に向けて使用したい。名簿専用ミニノートを購入予定。
 - ☆名簿のデータ管理について、「公式のクラウドを借り、パスワード制限をかけてデータを管理してはどうか」との意見が出た。
 - ☆小山氏より、コラボ企画委員会と名簿管理の合同企画として、総会への出席率の低かった昭和35年～41年度卒業生を対象とした『アサビさん・よん会』という新企画の提案があった。「9月頃に35人程を想定、なるべく会費内で収めたい。予算をもう一度検討し、承認を求めたい」とのこと。これに対し「出席者の会費内で収めたい気持ちはわかるが、同窓会として予算を立てた方がよいと思う」「セミナーと抱合せにすると、双方の企画の魅力を引き出せるのではない」「各学年に対して行う必要がでてくるとも限らないので、まずはケーススタディとして同窓会が呼び掛け、各学年の同期会のきっかけづくりになるとよい」「同期で亡くなっている方が、その学年の集まりの中心だった場合もあり得るので、やり方によっては同窓会全体としても良い企画になると思う」等の意見が出て、企画を進める方向となった。
- 会則検討・議題3にて報告
- 選挙管理・常任幹事半数の改選選挙の遂行
- WEB
 - 現在のasabi-netを6月頃にFacebookに移行予定。
 - ・メリットは、承認したメンバーであれば誰でも記事の投稿が可能ということと、会員同士が直接コミュニケーションをとれることと、予算の削減。
 - ・デメリットは、フォーマットが決まっているのでオリジナルのデザイン性が無くなる。
 - ・会員以外に見せたくない情報について、今後セキュリティやグループ分けを詳しく調べる。
- 同窓生・在校生支援
 - ・前回共に変化なし
- セミナー・プロジェクト
 - ・2010年度は第8回、第9回のセミナーを開催した。
 - ・2011年度の活動計画は、「Asabi Bridge」という名前をポイントに色々な企画を展開の予定。
 - ・アサビフェスタにあわせて、『Asabi Bridge Work』という企画を予定。卒業生のブースを設け、在校生に向けてプロの作品過程を紹介するなど、制作過程について学生とのコミュニケーションが図れるとよい。
 - ・11月にセミナー開催予定。
 - ☆『Asabi Bridge Work』について「フェスタでは学生はやる事が多くて時間がとりにくいと思うので、別の日に開催した方がよいのでは」との意見が出て、検討を重ねる方針とした。
- 2011年度活動計画全体について
 - ・秋元会長は、委員会やプロジェクトの予算を各担当者と確認しながら162万円に調整した後、名簿管理のフォーマット作成の外注費について意見交換し、20万円を上乗せすることとなり、再考したものを次回提出することとした。
 - ・甲斐氏から「コラボ企画委員会の予算3万円を『アサビさん・よん会』へ充当したい」という意見が出て了承された。

議題3 その他・意見交換

- 会則改訂委員会の甲斐氏は、前回会議の続きとして、変更予定項目を報告した。
 - ・常任幹事と会長の任期を変更、次回会議で報告を予定。
 - ・議事録をどの段階で承認とするか、方向性を定めてゆく。
- 松岡氏が学校からとして、広報担当の高橋氏が今年度で辞められることを報告した。
- 秋元会長から、常任幹事会の名目で、常任幹事会出席の交通費をきりのいい金額(10万円)にして、今回の地震の義援金として寄付したいとの提案があり、皆の了解を得た。

次回日程は、2011年5月28日(土) 15:00～17:00 ということを確認して議会は閉会した。